

## 日本原子力研究所納 指数函数炉実験設備

日立製作所にて今回、日本原子力研究所に納入した本設備は、同研究所にて計画中の天然ウラン、重水型国産1号炉に関して、各種の予備実験を行うためのものである。指数炉は天然ウラン燃料棒が計画中の原子炉と同じく、重水中に格子状に配列されているAl製のタンクである。

容積が原子炉に比べて小さいので、自発的な核分裂を起さないが、底部中性子源より中性子を照射すれば核分裂の定常状態が実現できる。その主な仕様は下記のとおりである。

### 仕 様

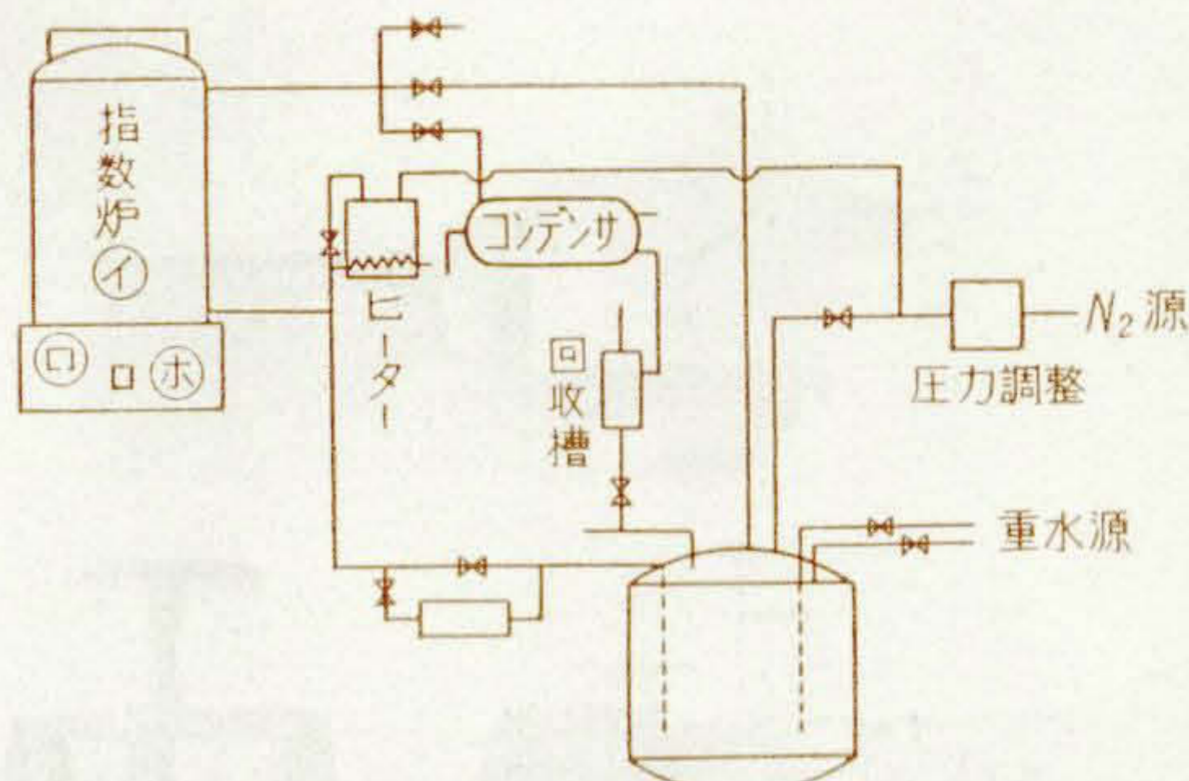
- |            |   |
|------------|---|
| (1) 指数炉本体  | (イ)タンク：1,360φmm × 2,230mm<br>Al製                        |
|            | (ロ)ベデスタル：高さ600mm<br>黒鉛ブロック                              |
|            | (ハ)燃料：天然ウラン<br>(ニ)減速材：重水<br>(ホ)中性子源：Ra-Be または原子炉サーマルコラム |
| (2) 重水系統   | (イ)重水貯槽：容量4,000l Al製                                    |
|            | (ロ)付属品：重水回収槽、コンデンサ、フィルタ、廃重水タンク                          |
| (3) 窒素ガス系統 | 構成要素：圧力調整装置、シリカゲル除湿器、加熱器、真空ポンプ                          |

### 機 能

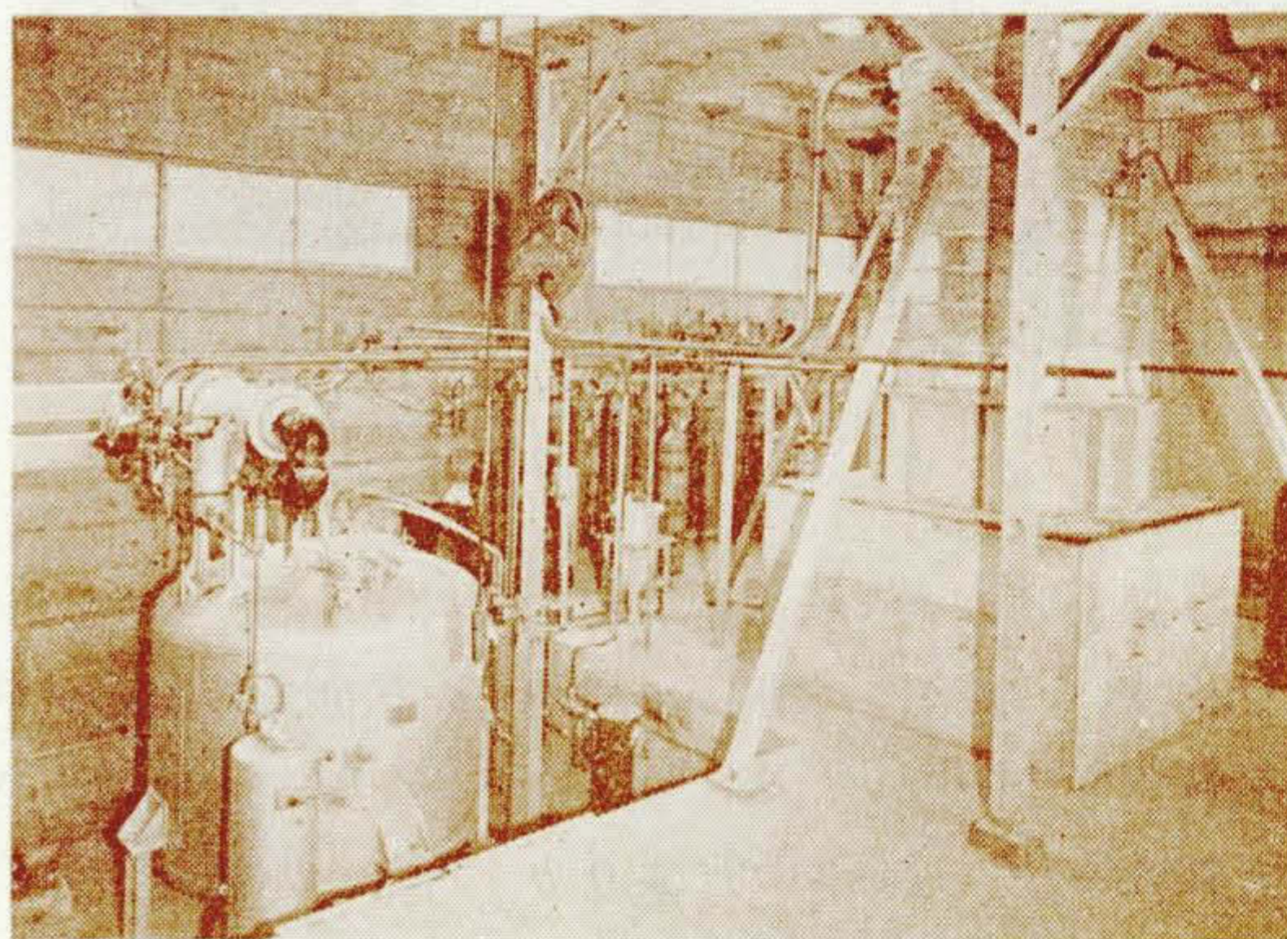
- (1) 熱中性子分布の測定による計画中の原子炉の臨界の大きさの予測
- (2) 燃料棒格子ピッチの増倍係数に及ぼす影響の検討
- (3) 理論的検討の困難な制御機構や、温度効果の予測
- (4) 核計算に必要な各種定数の測定
- (5) 原子炉運転技術者の予備的訓練

### 特 長

- (1) 燃料棒格子ピッチが3段に調整しうる。
- (2) 重水の洩れを絶無とし、回収装置を完備している。
- (3) 窒素ガスにより、重水と空気を絶縁し、重水の汚れを防止している。
- (4) 重水の操作には、窒素ガスを用い、ポンプを使用していない。



第1図 指数函数炉実験設備系統図



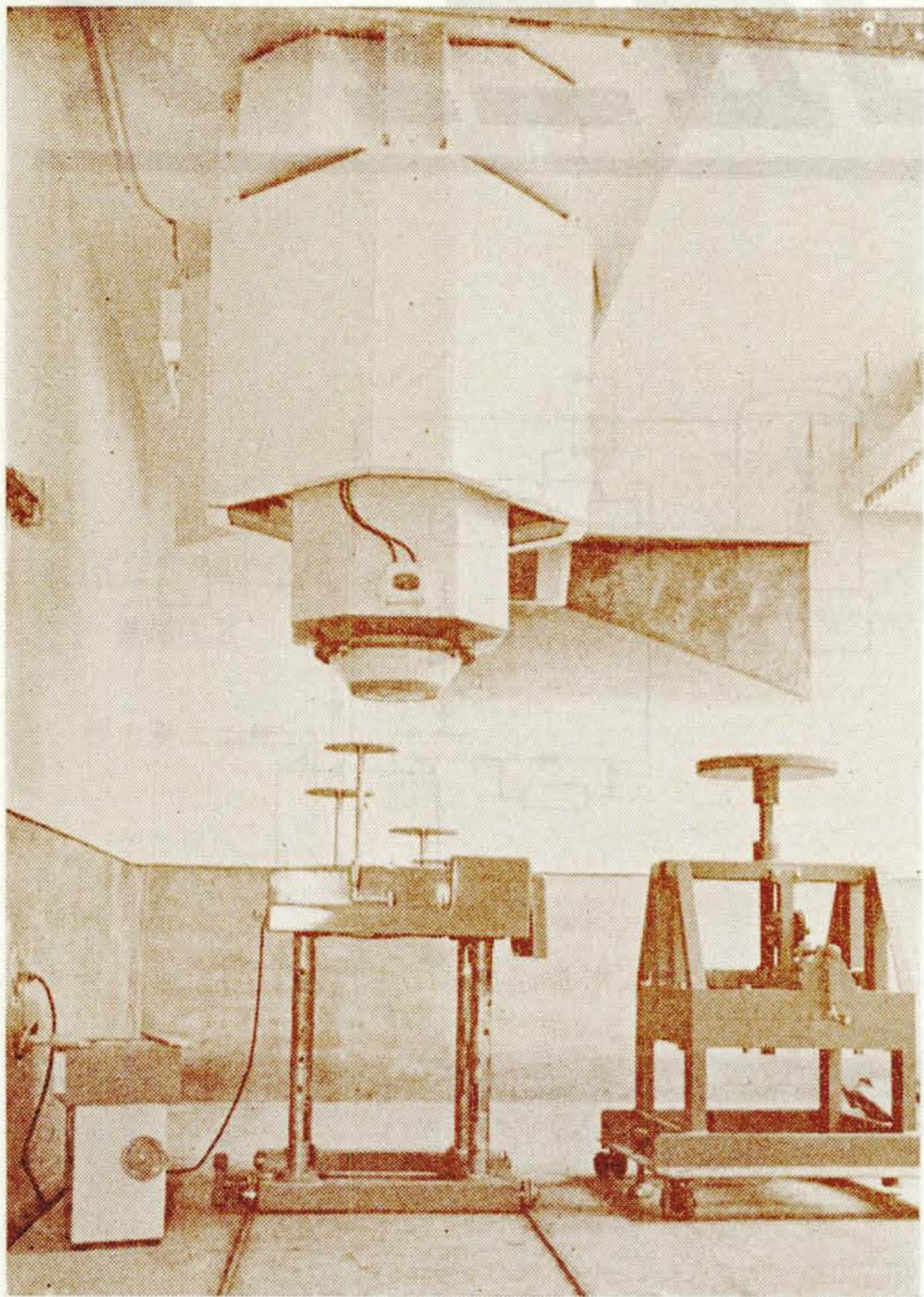
第2図 指数函数炉実験設備

## 農林省蚕糸試験所納 Co<sup>60</sup>照射装置(100キュリー)

日立製作所よりこの程農林省蚕糸試験所に納入された本装置は桑の品種改良が目的で桑の種子(休眠種子、発芽種子)にガンマ線を照射してこの種子をまいて突然変異を起させるのと、挿木ができる性質を利用して枝に照射するなどの研究に使用されている。また蚕の場合は放射能による動物の遺伝的影響についての基礎的なデータを得ることに利用され、このほか繭の殺菌、防黴、殺蛹および絹の品質改良の研究にも利用されている。

第3図は本装置および付属機器として照射用フィルタ中距離サンプル台および近接用サンプル台などの全景である。

本器は放射線源を納めたカプセルを、水銀中に支持した水銀シール型と称する新方式の照射装置で線源部を天

第3図 Co<sup>60</sup>照射装置および付属装置

井より懸垂しガンマー線を試料に照射する。

使用時には線源を水銀中に格納した状態で被照射試料を装置下面に配置した後、コンクリート壁で十分遮蔽された操作室から遠隔操作によりカプセルを水銀ケースの下面に密着するまで降下させて全周を照射する。

なおカプセルの上下動には日立製作所製亀戸工場製のサーボリフターが使用されている。

線源を格納した状態では装置下面に対する放射線は水銀により遮断される。この場合装置外周の漏洩線量は100キュリー格納時に線源容器の表面において装置下方0.1 mr/h以下、側方1 mr/h以下、上方6.25 mr/h以下で特に装置側方の約1/3の間は試料の配置交換時に人体保護を考慮し0.1 mr/h以下の遮蔽が施されているので、試料などを装置する場合にも安全に操作することができる。

安全装置機構としては操作室にパイロットランプを設け、線源の格納移動中照射中がそれぞれのランプで確認できる。また照射中、停電のほか非常により電気回路が遮断された場合には、線源は格納位置に自動的にもどる機構になっている。

このほか蚕糸試験所の場合は日立製作所多賀工場製の安全線量計を設備し、室内のガンマー線が20 mr/h以上のときには、照射室の扉に電気錠がかかるので、誤つ

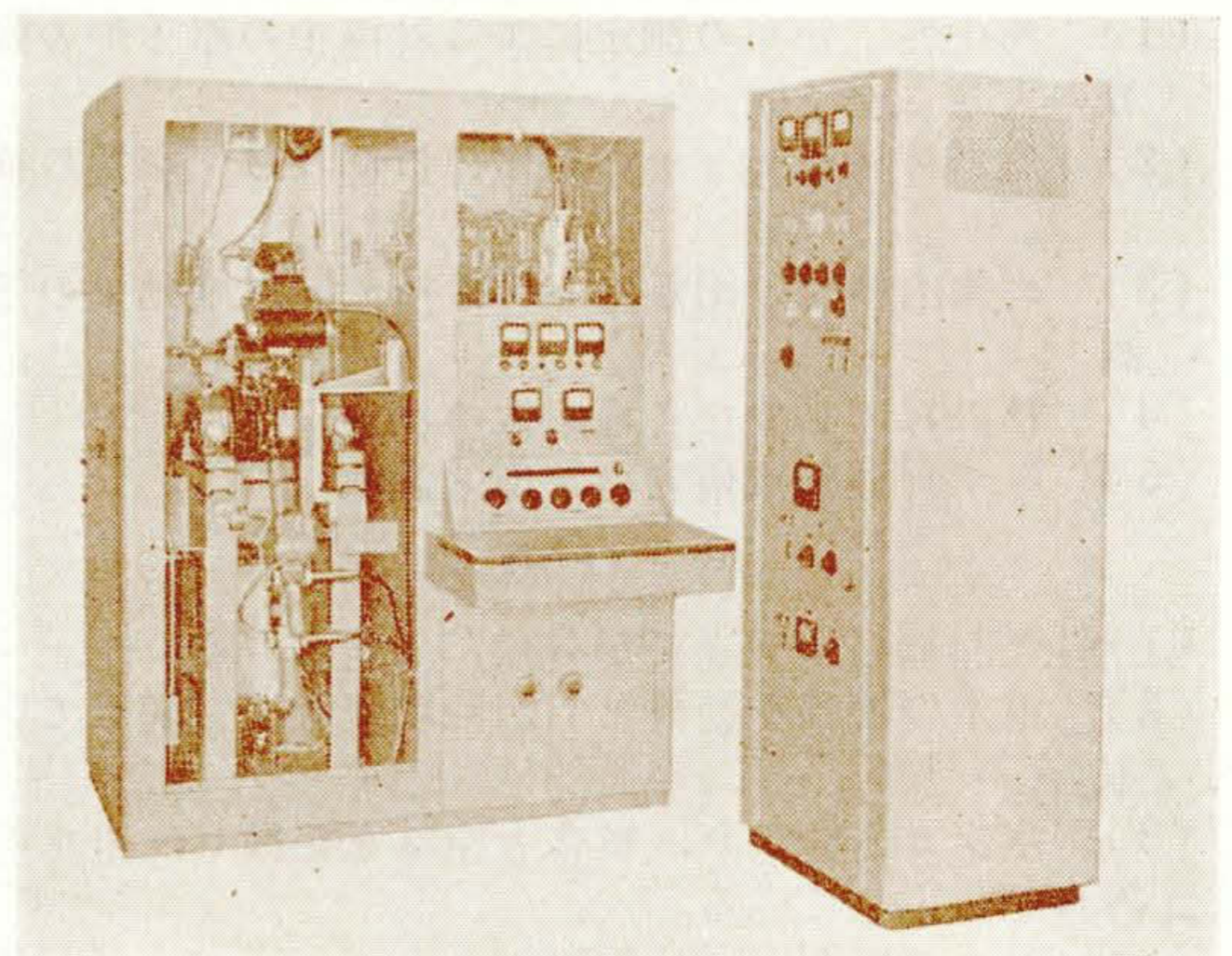
て入室する心配がない。なおこの電気錠は照射室内部より手動錠により開くことができる。また照射中は各扉そのほか設けられた、パイロットランプにより照射中であることを示す。なお本装置の線源容量は、最大1,000キュリーまで収めることが可能である。

### RMI-1型同位元素用質量分析計完成

炭素、窒素、酸素など身近で放射能を持たない同位元素をトレーサとして使用する場合には、質量分析計を利用するのが最も能率的である。日立製作所では以前から製作していた重水素専用の比較直読式質量分析計RMD-2型と連続記録式一般ガス分析用の大型質量分析計RMU-5型との利点を組合せ、一般同位元素用のRMI-1型質量分析計を完成してこのほど東京都立大学に納入した。本装置はイオンの分散度に応じて位置を調整できる世界で初めての可変ダブルコレクタ方式を採用しており、各種の同位元素の存在比を迅速に測定することができ、原子力応用方面にも利用価値がきわめて大きい。

#### 仕 様

分解能	.....M/e 70
分析範囲	.....M/e 14~46
分析精度	.....1%
検出感度	.....10 <sup>-6</sup>
分析所要時間	.....10分 (1試料につき)
試料所要量	.....0.5~1cc (N.T.P.)
イオン軌道	.....半径150mm, 偏向角60度
加速電圧	.....2kV (1.5kVも可能)
磁場強度	.....3,400G (電磁石)
測定方式	.....イオン電流比直読
コレクタ	.....可変ダブルコレクタ
分析管材質	.....非磁性不銹鋼, テフロンガスカート
排気系	.....硬質ガラス, 水銀DP, 多段トラップ
全重量	.....約1.2t
消費電力	.....常用2.5kW (A.C. 100V, 1φ)



第4図 RMI-1型質量分析計

### 寒地向け屋外用観光テレビ塔エレベータ 完成好評裡に運転中

札幌市内 N.H.K. テレビ塔に屋外設置のエレベータが観光用2台、屋内用2台計4台が完成しこのほどから好評裡に運転中である。このエレベータは日立製作所国分工場で作製したものであるが、寒地向け屋外用としてはわが国初の計画であり風雪および結氷に対しては慎重な考慮が払われており斯界注視の的となつている。現在は8時より21時まで連続フル運転を行つており十二分にその性能を発揮している。

エレベータの仕様は下記のとおりである。

積 載 量..... 1,000 kg (12人乗)  
速 度..... 60m/min  
制 御 方 式... AC 2 Speed カースイッチコントロール  
ス ト ロ ッ ク..... 67.480mm  
高 さ..... 地上約 91m  
所 要 馬 力..... 22kW

寒地屋外用としての主なる特長をあげると

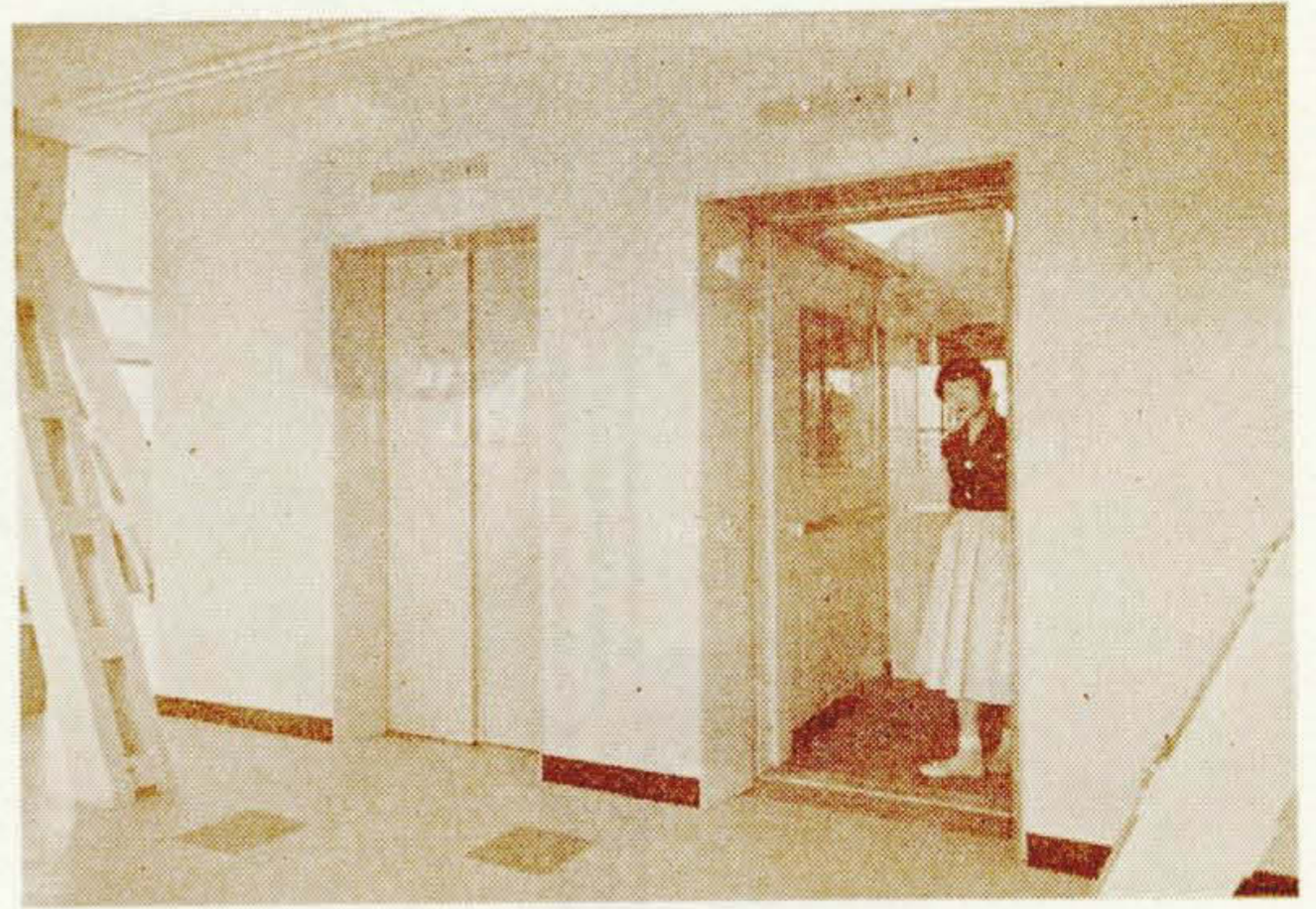
(1) 風速 20 m まで安全運転を保障するため特にロープテンションを大きく選定し特殊なロープ振れ止めを設けた。

またロープは耐寒用ロープを使用した。

(2) 機械室内の凍結を防止するため自動温度調整装置を設け管理室で容易に温度管理ができるようにした。



第5図 札幌市内NHKテレビ塔



第6図 テレビ塔内部のエレベータ

- (3) ケージは市内道路真上に設けられる関係上ケージから「つらら」の落下することを防止するため断熱構造とし「つらら」の発生を防止するようにし室内にはルームヒータを設けた。
- (4) トロリーワイヤは  $85\text{mm}^2$  の溝付き硬銅トロリー線を使用し、集電装置も摺動式とローラ式を併用し電圧降下ならびに接触不良を防止した。
- (5) ケージ内照明は低温用蛍光灯を使用し $-15^\circ\text{C}$ まで使用可能とした。

### 1/2 in 卓上電気ドリル新発売

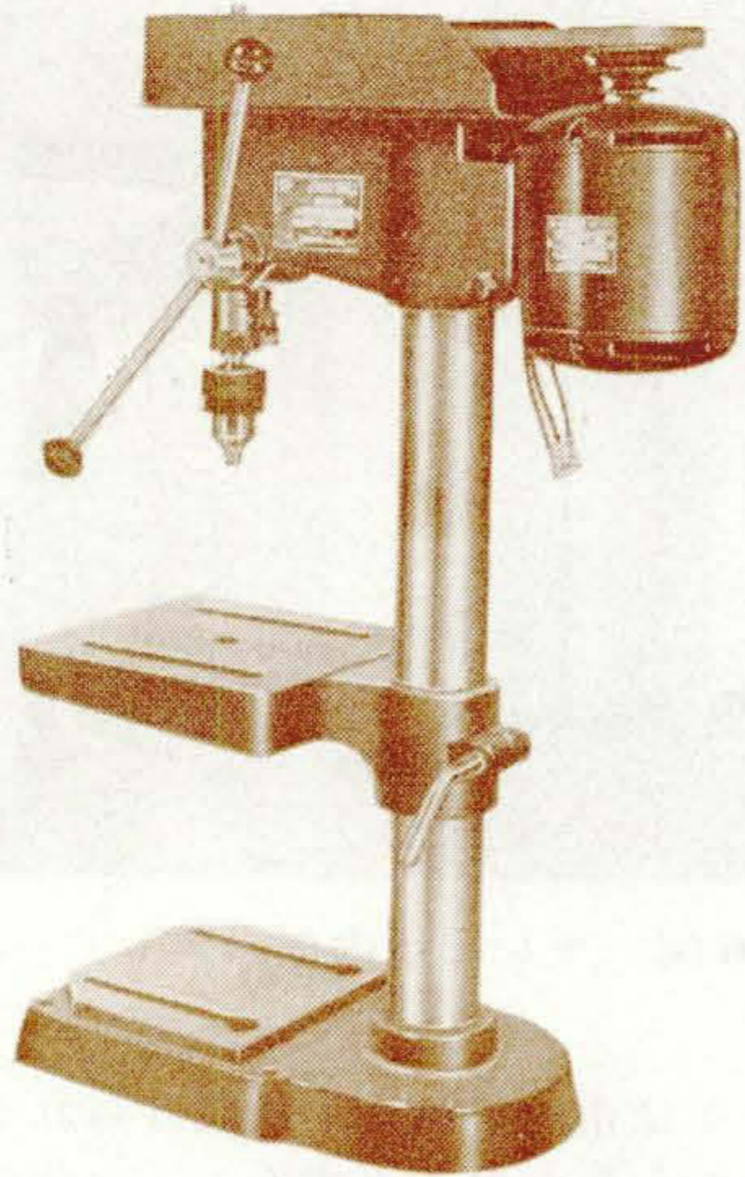
(中間テーブルドリルチャック付)

日立製作所では従来卓上電気ドリルは3/8inの単相用、三相用を製作していたが今度業界の久しい要望にこたえて1/2in (13mm) BRD 13型、単相用、BTD 13型、三相用の2種類を発表した。

同品は特に機械の性能にマッチした専用モートルを備えかつ精密加工にむくように種々工夫され、次のような特長を有している。

#### 特 長

- (1) ボール盤専用の300W強力堅型モートルを使用しているのもートルに無理がかからず耐久力が強い。特に単相用は起動電流の少ない回転力の大きな反撓起動型である。
- (2) 精度が高い。  
構造が堅牢で研磨作業による精密仕上である。  
精度の高い日立ドリルチャックを付けている。
- (3) 安全で使いやすい工夫がなされている。  
◎スピンドルの送り目盛板は明けた孔の深さの読みやすいスライド型である。  
◎モートルを前後に移動してベルトを調節できる。  
◎スイッチは左手で楽に使えるタンブラ型である。  
◎ストッパは同じ深さの連続穴あけに便利である。  
◎プーリによりスピンドルの回転速度が3段に変る。



第7図 日立 1/2 in 卓上電気ドリル

- ◎作業に安全なるようにカバーを備えている。
- ◎加工に便なるよう中間テーブルがついている。

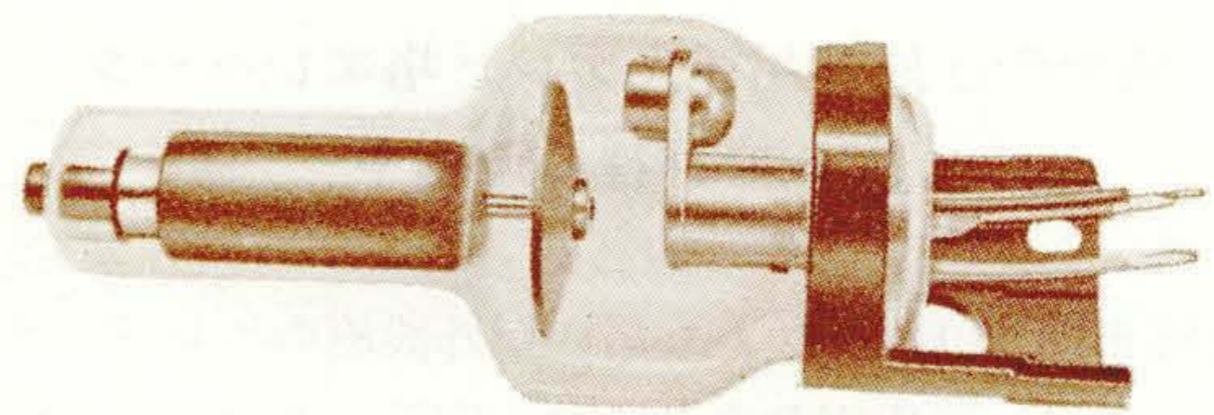
仕 様

型 式	BRD 13 型	BTD 13 型
最大鑽孔能力	13mm (1/2 in)	13mm (1/2 in)
電 源	単相交流50~60~	三相交流50~60~
電 圧	100Vまたは200V	200 V
出 力	300W	300 W
全負荷電流	6.3A(100V)3.2A(200V)	1.5 A
スピンドル回転数	50~500 1,000 2,000rpm 60~600 1,200 2,400rpm	50~500 1,000 2,000rpm 60~600 1,200 2,400rpm
スピンドルテーパ	#6ジャコブステーパ (#2 1/2)	#6ジャコブステーパ (#2 1/2)
スウイング	330mm (13")	330 mm (13")
重 量	51 kg	49 kg
価 格	33,100 円	31,700 円

ヒッターノード (日立回転陽極 X 線管)  
DOR-503 完成,  
従来品より小焦点, 診断用に新威力

日立製作所茂原工場では、ヒッターノード DOR-503 をこのほど完成した。この DOR-503 は診察用に使用する二重焦点の回転陽極 X 線管の新品種である。

「ヒッターノード」という名称は、日立製の回転陽極 X 線管に最近つけられた商品名である (今までロータリッ



第8図 ヒッターノード DOR-503 (日立回転陽極 X 線管) 焦点 1.5×1.5mm および 0.3×0.3mm

クスと呼ばれることがあつたが、これは日立製品を呼ぶ正しい名称ではなく、外国他社製の回転陽極 X 線管の商品名である)。

ヒッターノードとしては、実効焦点 2.0×2.0 mm, 1.0×1.0mm の二重焦点を有する DOR-502 がすでに各所に納入されているが、今度完成した DOR-503 はその姉妹品であり、実効焦点は一層小さい 1.5×1.5mm, 0.3×0.3mm という尖鋭なものである。したがって一般撮影や透視のほか、拡大撮影にも鮮明な像をむすぶことができ、一段と高性能な X 線管である。

概略定格は次のとおりである。

概 略 定 格

外形寸法.....全長 255mm 最大部径 108mm  
冷却方式.....油浸  
最大使用電圧..... 100KVP  
最大逆耐電圧..... 100KVP

実効焦点 (mm)	最大 定 格			最大フィラメント加熱	
	管電圧 (KVP)	管電流 (mA)	通電時間 (s)	電 圧 (V)	電 流 (A)
1.5×1.5	60	400	0.1	9	5
	60	300	1.0		
	85	4	連続		
0.3×0.3	80	25	0.1	3	4.5
	80	20	1.0		
	85	4	連続		

注： 最大定格は電源周波数 50~ で全波整流回路におけるものである。

熱陰極水銀整流管 4H73 完成  
4H88A に代り高圧電源用に好適

日立製作所茂原工場では、熱陰極水銀整流管 4H73 を完成した。従来広く用いられてきた 4H88A (陽極耐逆電圧 15kV, 平均陽極電流 1.25A) に対し 4H73 は 15kV, 1.5A と陽極電流が大きくなっている。用途としては、ボンバーダ、放送機などの高圧電源用に好適である。

概略定格は次のとおりである。



第9図 熱陰極水銀整流管 4H73



第10図 直熱型全波整流管 2K12



第11図 熱陰極グリッド制御放電管 4G63

## 概略定格

外形寸法	
全長	290 mm
最大部径	80 mm
口金	
上部	A14 S
底部	D25 PA
陰極	
電圧	5V
電流	10A
尖頭陽極耐逆電圧	15,000V
平均陽極電流	1.5A

## 日本国有鉄道信号機用に 2K12 大量受注

このほど、日立製作所茂原工場では日本国有鉄道信号機用として、日立直熱型全波整流管 2K12 を大量受注した。

日本国有鉄道では鉄道および車輛の信号用として、真空管利用のキヨサイクル信号機を使用する計画が進められている。これは輸送の安全性を一層高めるためであり、使用される真空管に対してはその信頼性を特に強く要求されるものである。このうち整流管として日立 2K12 が採用されることになり、このほどその第一次計画のうちとして約二千数百個の注文が決定した。これらは信号機メーカーたる大同信号株式会社、日本信号株式会社、京三製作所にそれぞれ分納されるものがある。

日立直熱型全波整流管 2K12 は、全く日立独自の構想と設計により開発され外国他社にもないもので、そのねらいは既存の整流管の電流容量の段階の中間をねらい、しかも整流管にあり勝ちな短寿命や寿命のばらつきを完全に改善したものである。その高い信頼性は国警などからも早くから認められていたが、今回の採用はその長寿命と好適な性能とが認められた結果と思われる。

なお 2K12 の規格概略は次のとおりである。

型名	2K12
陰極	直熱型酸化物塗布陰極 電圧 5V, 電流 4A
外形寸法	全長 138 mm 直径 50 mm
口金	D16P 型
種別	全波整流管
最大陽極定格 (1 陽極当たり)	
尖頭耐逆電圧	2,800 V
尖頭電流	1,200 mA
平均電流	175 mA
管内電圧降下 (陽極電流 350 mA として)	70 V

## 熱陰極グリッド制御放電管 4G63 完成

通称サイラトロン 2.5A もの、  
特に高圧用に好適 (1.6 A)

日立製作所茂原工場ではこのほど、4G63 を完成した。この 4G63 は高電圧を整流できるばかりでなく、出力直流電圧をスムーズに制御できるので送信機、高周波加熱装置などの高圧電源用に最適である。またそのほかウエルダーにも用いられる。

概略定格は次のとおりである。

## 概略定格

外形寸法	
全長	280 mm
最大部径	60 mm
口金	
上部	A14 S
底部	D25 PA
陰極	直熱型酸化物陰極
電圧	5 V
電流	10 A
尖頭陽極耐逆電圧	15,000 V (高圧整流制御) 1,000 V (ウエルダー制御)
平均陽極電流	1.6 A (高圧整流制御) 2.5 A (ウエルダー制御)



第12図 双ビーム管2B52

### 双ビーム管2B52完成 VHF, UHF 無線送信用に好適

日立製作所茂原工場ではこのほど、傍熱型双ビーム出力管2B52を完成した。

この2B52の最大入力で使用可能の周波数は300 Mcで、さらに入力を下げれば600 Mcまで使用可能であるが出力は2B94(最大周波数250 Mc)の約半分である。用途としてはVHF, UHF送信機用に使用されるもので、従来UHFには2B94以外に適当な品種がなかつたところ、今回の2B52の完成により、好評を得ることを期待している。

概略の定格は次のとおりである。

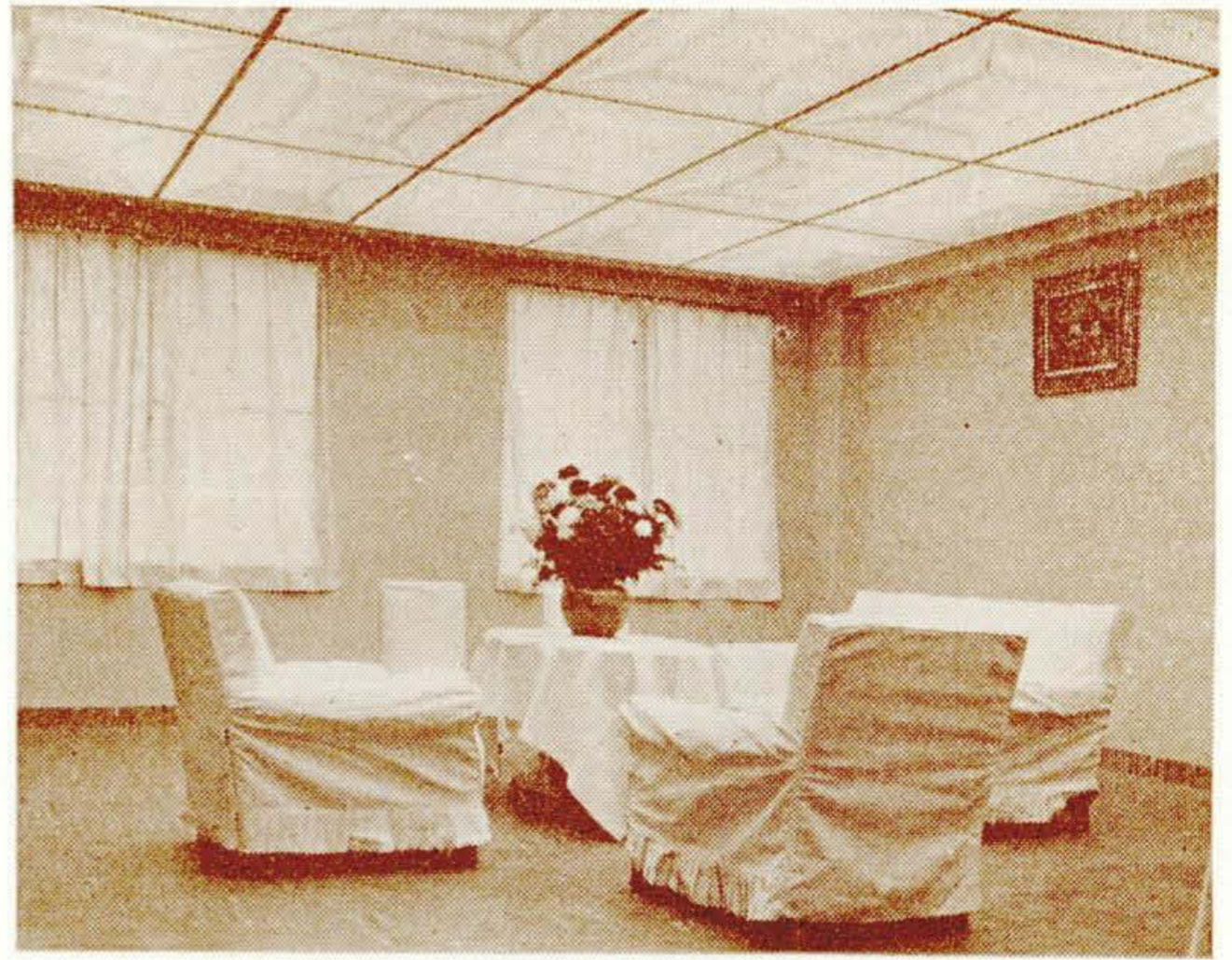
#### 概 略 定 格

外形寸法.....	全長81mm	最大部径44mm
口 金.....	G25S	
陰 極.....	傍熱型酸化物陰極	
電 圧.....	6.3 V	12.6 V
電 流.....	1.3 A	0.65 A
最大陽極損失.....	2 × 10W	
最大周波数*.....	300 Mc	
最大周波数における出力.....	27W	

\* 最大入力で使用可能の周波数

### 新材料ルミパネルによるルミナスシーリング (光り天井) 完成

このたび日立製作所では新しい材料を使った実用性の高いルミナスシーリングを完成した。ルミナスシーリングとは文字どおり光り天井であつて天井全面を一様に光らす最も新しい照明方式である。蛍光灯の発達に伴つて照明の分野は次第に広がつてゆき建築に融け込んできたが、その究極の姿がこのルミナスシーリングで建築と照明は完全に一体化し、建築上の天井がそのまま照明光源になつた形といえる。この方法によると影やまぶしさのまつたくない快適な照明が得られる。



第13図 新材料ルミパネルによるルミナスシーリング

ルミナスシーリングには従来アクリル樹脂板を利用していたが、高価なため実用性に乏しい欠点があつた。このたび日立製作所がわが国で始めて完成したルミパネルはプラスチックの一種であるが、安価で加工性に富んでいるためルミナスシーリングが手軽に可能となつた。同社ではルミパネルとこれを用いたルミナスシーリングに対して特許を出願中である。

ルミパネルは厚みが0.5mm程度であるためきわめて軽く、機械的強度はアクリル樹脂同等であり、光の透過率は55%ぐらゐで特に垂直透過率が低く拡散透過率が高いため、ランプがすいて見えるようなことがなく、また加工性の高い特長をもっている。ただやや耐熱温度が低いためあまり高温になる場所には使えないが普通の場所での使用にはさしつかえない。

#### ルミパネルの種類

ルミパネルには補強を兼ねた模様がつけられており、取付構造によつて二種に大別できる。その第一は角形のもので矩形のます目状の枠金物にささえられる構造のもので、一枚一枚が独立の模様を備えている。その第二は波形のもので平行に走る長いビーム状の枠金物にささえられる構造で、連続した波状の模様を備えている。いずれも4×3尺を定尺寸法としている。

#### ルミナスシーリングの構造

ルミパネルを使用したルミナスシーリングの構造はきわめて簡単なもので、蛍光ランプを天井面に直付け、あるいは吊下げた上で天井よりボルトをもつて枠金物を吊りこれにルミパネルが乗せられているだけのことである。したがつてルミパネルの取付け、取り外しはきわめて簡単で清掃なども容易である。

#### ルミナスシーリングの特長

ルミパネルによるルミナスシーリングの特長は次のとおりである。

# 日立 ニ ュ ー ス

- (1) 均一な明るさが得られる。
- (2) 軟かい光が得られ、目の疲労度が少ない。
- (3) 影ができない。
- (4) 難燃性である。
- (5) 塵埃の吸着が少ない。
- (6) 吸音性である。
- (7) 軽量なため取り扱いやすく、保守が簡単である。
- (8) 建築上の天井面の仕上げが省略できる。
- (9) 価格が低廉である。

## 用 途

この方式は自然の光にたとえれば曇天光といえる。非常に拡散度の高い照明が得られるため、次のような場所の照明に適する。

- (1) 発電所やビルの配電盤室
- (2) 鉄道のコントロールルーム
- (3) 学校の各種教室
- (4) タイプライター室、製図室
- (5) 事務所、ホテルなどの応接室
- (6) 病院の診察室、調剤室

## わが国最初の本格的着色電球 日立カラーランプ完成

今度日立製作所において完成した“日立カラーランプ”は本格的着色ランプであつて、従来使用されていた着色電球に対し、大幅に改善されたものである。すなわち従来の着色電球はガラスバルブの内側に普通の塗料を塗布しているので光色がどぎつく非常に暗くなるなどの欠点があつたがこれらを根本的に改善している。

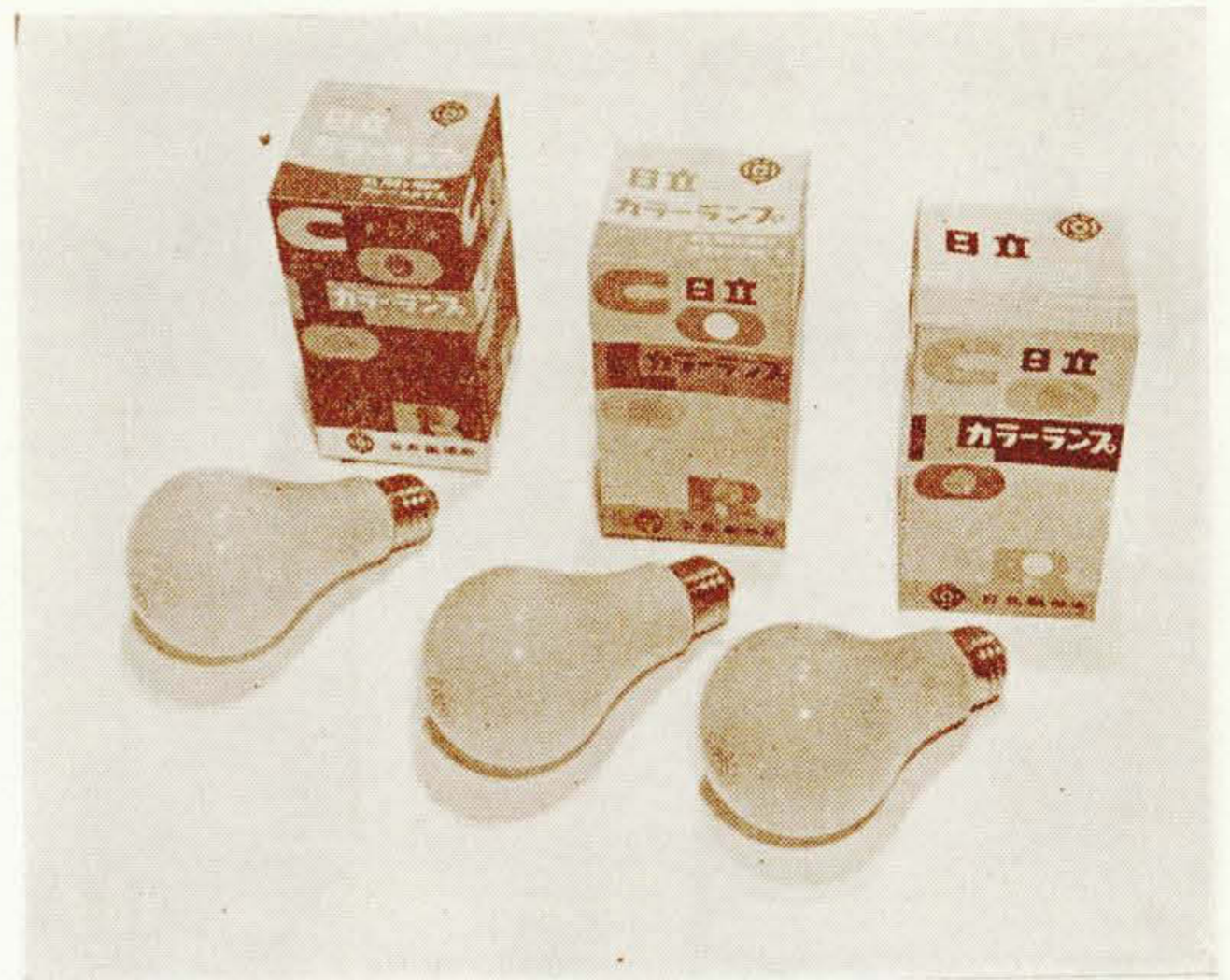
現在まで、着色電球の使用度が低かつたのは上記二つの欠点よりであつて“日立カラーランプ”は今後躍進を約束されたといえる。

“日立カラーランプ”はガラスバルブ内側にシリカと、特殊塗料を混合したものを焼付けてある 100 W 二重コイル電球である。したがつて非常にさわやかな感じを与え、またその明るさは従来品に比べて格段の差で明るくなつている。

色彩照明といつても従来の着色電球のように物の色が染つてみえることはなく物の色合はほとんど変わらないほどの微妙な着色光で使用場所は驚くほど美しく、あざやかな感じに一変する。

## 種 類

“日立カラーランプ”は人々の伝統的な色彩感覚、自然および建物などの色彩設計などを総合して選び出したもので次の3種である。



第14図 日立カラーランプ

### スカイブルー (KL-B)

澄みきつた青空を思わせる青系統の色調で新鮮なさわやかな感じ、明るさは普通電球の約70%

### カナリーイエロー (KL-Y)

かれんなカナリヤの羽毛を思わせる黄系統の色調で、親みのある落ち着いた感じ、明るさは普通電球の約90%

### チェリーピンク (KL-P)

桜の花弁を思わせる赤系統の色調で暖かな明るい感じ、明るさは普通電球の約75%

## 特 長

以上のように“日立カラーランプ”は色彩がよい、取り扱い簡単などとともに各色、正価 120 円というきわめて価格低廉な特長がある。

この好条件より家庭の居間、書斎、寝室、食堂に、ホテルのロビー、レストランなど、あるいは宝石、時計、カメラ店などのショーウィンドーの照明に広く使用されることと思う。

## わが国最初の堅型、中型クリーナー(C-V<sub>2</sub>型)

最近家庭用業務用に電気掃除機の需要はますます増加し今や電気掃除機は家庭電化のホープとなりつつある。

日立製作所ではすでに各種「日立電気掃除機」を発売し好評を博しつつあるが、家庭用小型電気掃除機は「ヒッターバック」として広く親しまれている。

今回さらに日立独自の設計と技術をもつて完成したわが国はもとより諸外国でも初めての画期的なタイプの堅型クリーナー(C-V<sub>2</sub>型)を新発売した。

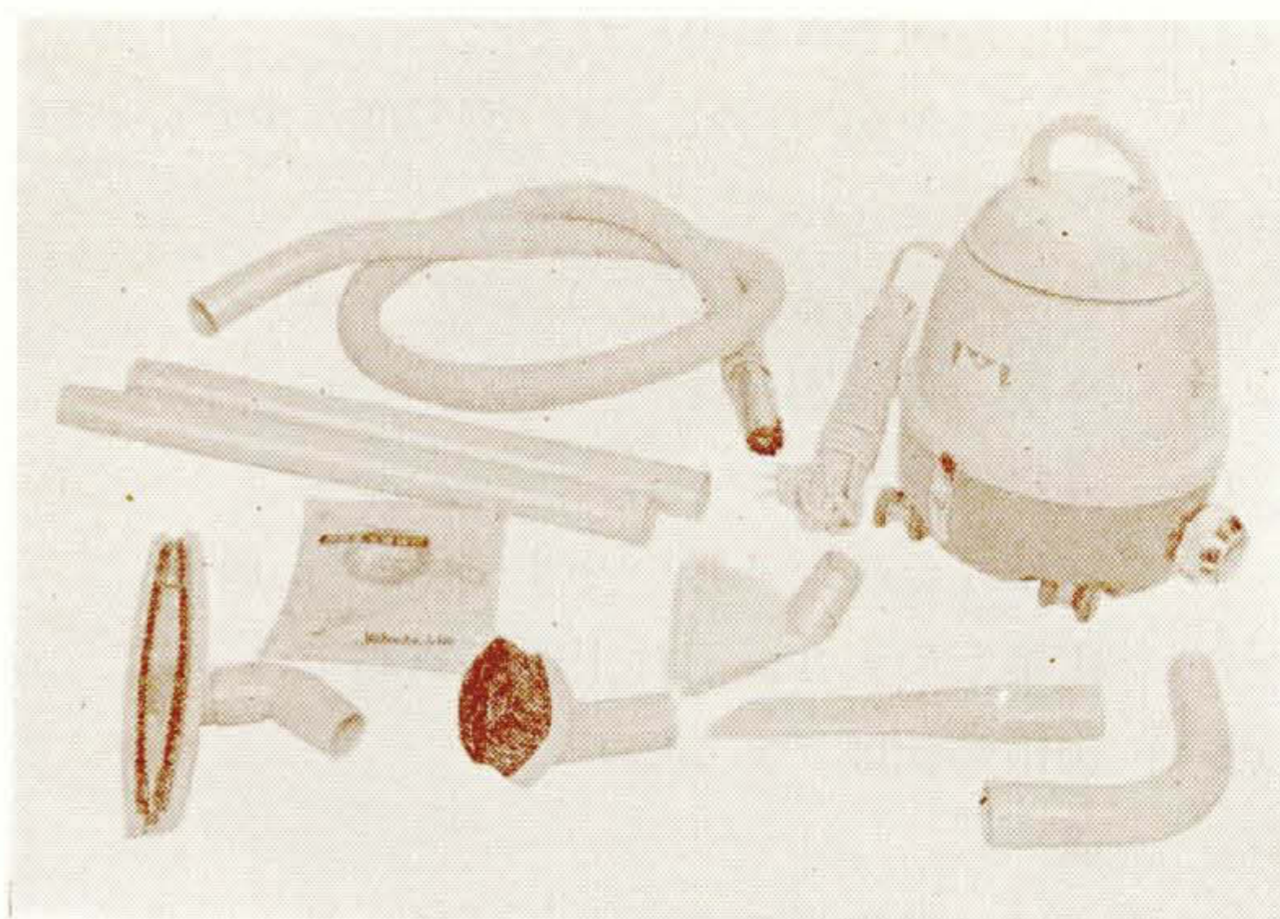
本機の主なる仕様と特長は次のとおり



第15図 使用中の堅型クリーナ

仕 様

電 源..... 100V 50/60~  
 消費電力..... 300W  
 型 式..... C-V<sub>2</sub>型  
 風 量..... 2.3 m<sup>3</sup>/min  
 真 空 度..... 650 mm水柱  
 回 転 数..... 15,000 rpm  
 重 量..... 5 kg (内コード 0.3 kg)



第16図 堅型クリーナ (C-V<sub>2</sub>型) および  
 付属品一式

型式承認番号..... 9-1356

特 長

- (1) スマートなデザインと新鮮な色調
- (2) だんぜん強い吸込力
- (3) 移動はきわめて容易
- (4) 定評ある日立モートルを使用
- (5) モートルに注油は不要
- (6) 集塵容量が大きい
- (7) 手をよごさずにゴミがすてられる
- (8) 衣服用吸口はナイロン刷毛付
- (9) 取扱いの簡単な応用部品
- (10) 雑音防止器付

編集後記

半導体を使用した整流器が実用化されたのは、二十数年以前にさかのぼることができるが、当時は能率が低いため大容量整流器として使用されるには至らなかった。しかし、最近に至つて半導体に関する研究が急速な進歩をとげるとともに、ゲルマニウムの精製技術も進み、海外ではゲルマニウム整流器が非常な発達を示している。特に電気化学工業用としての急速な伸展ぶりは刮目すべきものがある。本号では、最近における日立製作所の成果に基いた、ゲルマニウム整流器に関する研究を発表したが、この論文が、この新しい分野の開拓に貢献するところは決して少なくないであろうことを確信する。

大都市交通機関としての路面電車は、次第に地下また

は高架線に移行してゆく情勢にあるが、最近名古屋市交通局に納入された地下鉄電車は、同業者をも含めた関係七社の協議によつて、日立製作所が設計を一任されたものであり、地下鉄電車としては現在における最高の設備と性能をもつものである。その意味において本号に掲載された「名古屋地下鉄電動車」の内容は、関係者に多大の興味と関心を与えるであろう。

一家一言には中国電力株式会社島田社長の玉稿をいただくことができた。産業の発展と生産力の増大に伴つて、エネルギーの需要は膨脹する一方であるが、資源に乏しいわが国にとつて、これは容易ならざる重大な問題である。わが国のエネルギー資源の生産を担当される一人である島田社長の言葉は、さすがに含蓄と示唆に満ちている。熟読翫味していただければ幸いである。

日立評論 第39巻 第11号

昭和32年11月20日印刷 昭和32年11月25日発行  
 (毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定価 1部 100円 (送料12円)

© 1957 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人 鈴木 万 吉  
 印刷人 本 間 博  
 印刷所 株式会社 日立印刷所  
 発行所 日立評論社  
 東京都千代田区丸ノ内1丁目4番地  
 電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311  
 振替口座 東京 71824番  
 取次店 株式会社 オーム社書店  
 東京都千代田区神田錦町3丁目1番地  
 振替口座 東京 20018番

広告取扱店 廣 和 堂 東京都中央区新富町2丁目16番地 電話 築地 (55) 9028番